



Supported by  THE NIPPON
財団 FOUNDATION

令和 6 年能登半島地震
石川県両師会 災害対策本部の活動経緯（令和 6 年 3 月）

- 3 月 1 日 石川県医師会等対策会議に常盤本部長、定池副本部長が出席。
- 3 月 3 日 来週開始の富来活性化センター避難所支援活動に向けて現地訪問（田中・志賀町山崎）。担当者と活動場所を確認。コロナ経過措置患者（隔離）が 0。
スポセンでの DSAM 被災者支援活動第 7 回実施。
- 3 月 10 日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動開始。
日時；10 時～16 時 場所；診察室 活動人数 7 名
（鍼灸師会 4 名/鍼灸マ会 3 名）利用者；22 名（被災者 20/支援者 2）
スポセンでの DSAM 被災者支援活動第 8 回実施。
- 
- 3 月 13 日 富来活性化センター 吉村支所長、能登中部保健福祉センター 市塚健康推進課長、県医療対策課 田島氏に 3 月 10 日活動報告書（富来支所へは利用者情報も）をメールにて送付。
- 3 月 15 日 石川県医師会等対策会議に定池副本部長が出席。定期医師会等対策会議は最後となり今後必要に応じて開催。
- 3 月 17 日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動（第 2 回）。
日時；10 時～16 時 45 分 場所；診察室 活動人数 7 名（鍼灸師会 4 名/鍼灸マ会 2 名 福井県鍼灸師会 1 名） 利用者；21 名（被災者 17/支援者 4）
スポセンでの DSAM 被災者支援活動第 9 回実施。
- 3 月 19 日 日本財団に申請の災害支援金が満額で審査通過（鍼灸マ会）。
医療対策課田島氏に田中事務局長が電話連絡。県協定の申請書の書き方について質問・回答。
- 3 月 20 日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動（第 3 回）。
日時；10 時～16 時 45 分 場所；診察室 活動人数 7 名（鍼灸師会 3 名/鍼灸マ会 4 名） 利用者；28 名（被災者 20 名/支援者 8 名）
- 3 月 21 日 13 日同様、3 月 17 日活動報告書をメールにて送付。

3月23日 吉野支所長と田中事務局長が連絡。現在、避難所112名が滞在(14名は車中泊)。

3月24日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動(第4回)。
日時;9時30分~16時45分 場所;診察室 活動人数7名(鍼灸師会3名/鍼灸マ会4名) 利用者;18名(被災者17名/支援者1名)
スポセンでのDSAM被災者支援活動第10回実施。

3月25日 JLCDAM会議に定池副本部長参加。

3月31日 富来活性化センター避難所 災害支援鍼灸マッサージ活動(第5回)。
日時;9時30分~17時 場所;診察室 活動人数7名(鍼灸師会3名/鍼灸マ会2名/富山県鍼灸マッサージ師会2名) 利用者;29名(被災者24名/支援者5名)
スポセンでのDSAM被災者支援活動第11回実施。DSAMのスポセン避難所での活動終了。

3月28日 第6回DSAM会議 常盤本部長、定池副本部長参加。

【活動写真】



(報告:事務局長 田中 良和)